

(様式第7号)

### 地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和2年6月30日

作成者：永田 侑大

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的な数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

\*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
芦屋大学ボランティア部 Aqua	
事業名	日時(期間), 場所
イザ! カエルキャラバン! in 芦屋学園祭 2019	2019年10月27日(日) 芦屋大学
内容(実績)*実施したことを具体的に	受益者数
<ul style="list-style-type: none"><li>● 防災体験ゲームを実施(計6つ)</li><li>● かえっこバザールとかえっこオークションを実施</li><li>● 1.17 あしやフェニックス基金から助成金の活用</li><li>● 本事業のパンフレット約2500枚発行し、芦屋市内の幼稚園と小学校に配布、市内掲示板に掲示</li></ul>	(100)人
	参加者数
	(100)人
成果(社会へのインパクト)*どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
<ul style="list-style-type: none"><li>● 来場者の方から「楽しかった!」「次回も来たい!」という声が非常に多く、「今年も来ました!」という声をあり、本事業が認知されつつあると感じた。</li><li>● 地域の住民の方に本事業を通じて、防災に対する意識を持ってもらうことができた。</li><li>● 芦屋大学ボランティア部 Aqua、国際ソロプチミスト芦屋、芦屋市、芦屋市立あしや市民活動センター、地域福祉アクションプログラム推進協議会と連携することで規模の大きいプログラムができた。</li><li>● 本事業を通じて今まで芦屋学園祭(大学)にいられていなかった幼稚園児・小学生とその家族層を新たに来場者の対象にすることができた。</li></ul>	
今後の展望(どのように継続、発展するか)	
<ul style="list-style-type: none"><li>● 各関係機関による多大な協力の下で運営することができたが、今後は運営に関わる資金や人員等の面で余裕を持って運営できるように努めたい。</li></ul>	